



農福連携の取り組みについて

パーソルサンクス株式会社

サマリー(パーソルサンクスの概要と農福連携の取組みについて)

- **設立28年目の特例子会社**、親会社：パーソルホールディングス（人材ビジネス）
- グループ従業員数**約3万7千名**に派遣社員が法定雇用算出に加わる
- 従業員数**265名**（障害者数**知的：132名 身体：52名 精神：33名**）
- 東京でグループ会社からの受託事業（名刺・封入発送・事務請負など 障害者114名）
- 2006年：**横浜市と連携したクッキー**製造事業開始（障害者78名）

- **2016年**：今後の雇用率改定・事業拡大、東京圏での採用環境の悪化、職域開発の必要性から地方における新規事業プロジェクトも開始。
自治体と連携、地方の課題解決に取り組み地域から期待される労働力を目指す

- 2017年：**富岡市と連携した養蚕事業・農作業受託事業**開始（障害者20名）
- 2018年：**横須賀市と包括連携協定を締結、農作業受託事業**開始（障害者5名）

* 障害者雇用数は2019年2月1日現在

グループ概要

創業	1973年（テンプスタッフ設立）
代表者	代表取締役社長 CEO 水田正道
売上高（連結）	722,183百万円※2018年3月期
従業員数（連結）	37,812名※2018年3月31日現在
本社	東京都渋谷区
上場市場	東京証券取引所市場第一部
主要傘下企業	パーソルテンプスタッフ パーソルキャリア（旧インテリジェンス）
グループ会社数	計73社（国内：35 海外：38）※2018年11月13日現在
サービス拠点数	計606拠点（国内：432 海外：174）※2018年2月1日現在

はたらいて、
笑おう。



主要サービス

テンプスタッフ
doda⁺
an

パーソルサックス概要

資本金	10百万円（パーソルホールディングス株式会社100%出資）
代表者	中村 淳
設立	1991年12月（特例許可：1994年）
本社	東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 2階
従業員数	265名 （障害者社員数 217名：知的障害 132名、身体障害 52名、精神障害 33名）
拠点数	4拠点：池袋（東京）・横浜・横須賀（神奈川）・富岡（群馬）



池袋本社
事業内容：
名刺・ドキュメント印刷
事務・作業請負
カフェ・マッサージ・清掃
障害者社員数：114名



よこはま夢工房（神奈川県横浜市連携）
事業内容：クッキー製造
設立：2006年6月
障害者社員数：78名
事業場所：旧横浜市立大学附属病院



とみおか南工房（群馬県富岡市連携）
事業内容：養蚕事業・農作業受託など
設立：2017年6月
障害者社員数：20名
事業場所：旧富岡市立妙義幼稚園



よこすか・みうら岬工房（神奈川県横須賀市包括連携協定事業）
事業内容：農作業受託
設立：2018年10月
障害者社員数：5名
事業場所：神奈川県横須賀市長沢

パーソルグループの障害者雇用

障害者雇用拡大の必要性

雇用率改定（現行2.0%⇒2.2%）グループの事業拡大

弊社グループの障害者雇用の現状

グループ内に3社の特例子会社、グループ各社でも障害者雇用を推進

障害者雇用拡大の方向性

新規雇用職域の創出が必要、既存事業拡大だけでは賄えない。
⇒都市圏での採用難易度が上がり、地方でも雇用創出を検討

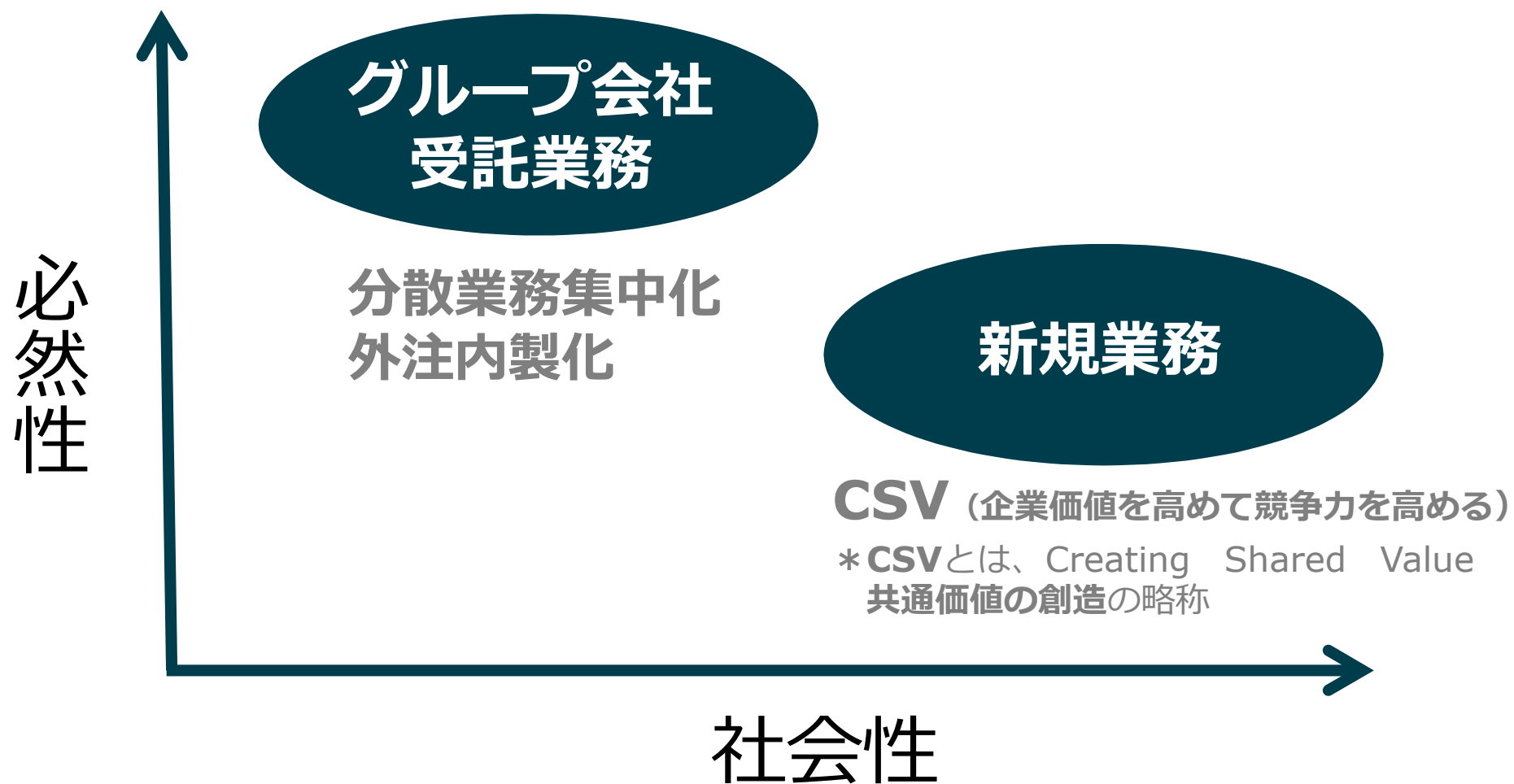


地方で新規事業立ち上げ

- * 社会性の高い事業を地方にて立案
- * 第1次産業の活性化・産学官連携などをテーマとする

地域から期待される労働力になる！

職域開発の考え方



農福連携～事例①～

とみおか繭工房

群馬県富岡市 養蚕、農作業受託

事業開始のきっかけ

そもそも

なぜ群馬県で 養蚕事業だったか？

① 障害者雇用率ワースト2

＞ 都道府県別雇用率ワースト2だった群馬県で
30名以上の雇用創出を目指す

② 次世代の担い手がない

＞ 次世代の養蚕業を障害者雇用が担う

③ 繭の増産をしたい

＞ 生産量3 tを目指す

・産業復興
・世代継承

養蚕業界

・雇用創出
・地方創生

自治体

三者にメリット

弊社グループ



・障害者雇用
・社会貢献

2017年6月 とみおか繭工房事業開始



- 旧市立妙義幼稚園を富岡市から賃借
- 2017年度：障害者 7名雇用、繭280kg生産
- 2018年度：障害者20名雇用、繭1. 1 t 生産
- 桑園管理、桑収穫、桑くれ、清掃、設備設置などの仕事に従事

とみおか繭工房年間スケジュール



	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
養蚕							春蚕 2回			夏蚕						晩秋蚕			晩晩秋蚕																	
桑園整備	除草作業・施肥																								根払い・春切り						施肥・捕植					
その他								梅もぎ			機織り くず繭作業										こんにゃく堀り						座繰り・機織り・ 他農作業受託									

2017年11月 農作業受託事業開始

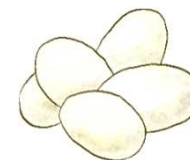


- 群馬県農業事務所から農福連携モデル事業のお話を頂く
- 養蚕閑散期に近隣農家のお手伝い
- 今後拡大予定！

平成30年度 養蚕の結果

生産量

- 2018年度 繭 1.1 t生産

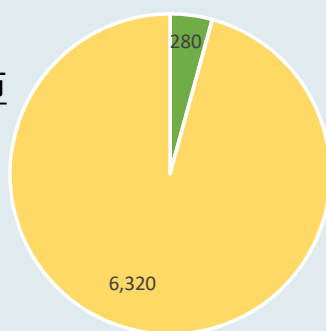


増員

- 2018年度 20名まで増員

昨年度富岡市収穫量

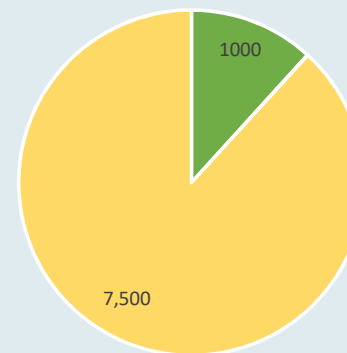
昨年度富岡市
収穫量
6.6 t
(対前年1.2 t
UP)



■ サクス ■ その他農家

4% → 12%

2018年度富岡市収穫量目標



■ サクス ■ その他農家

今後の展望

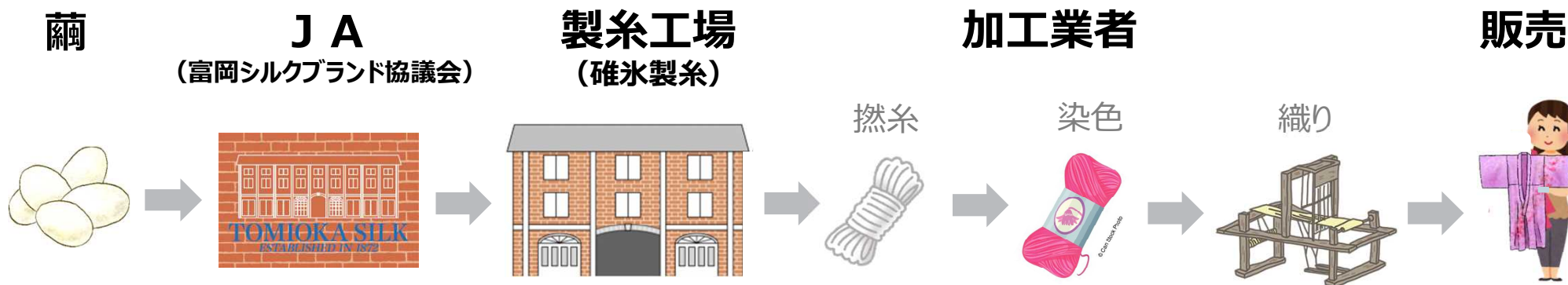
商品化案

- ノベルティ製作
- ネクタイ・入浴剤・フェイスパック など
- 桑和紙商品化 名刺・賞状・梱包材



雇用の継続・最大化！

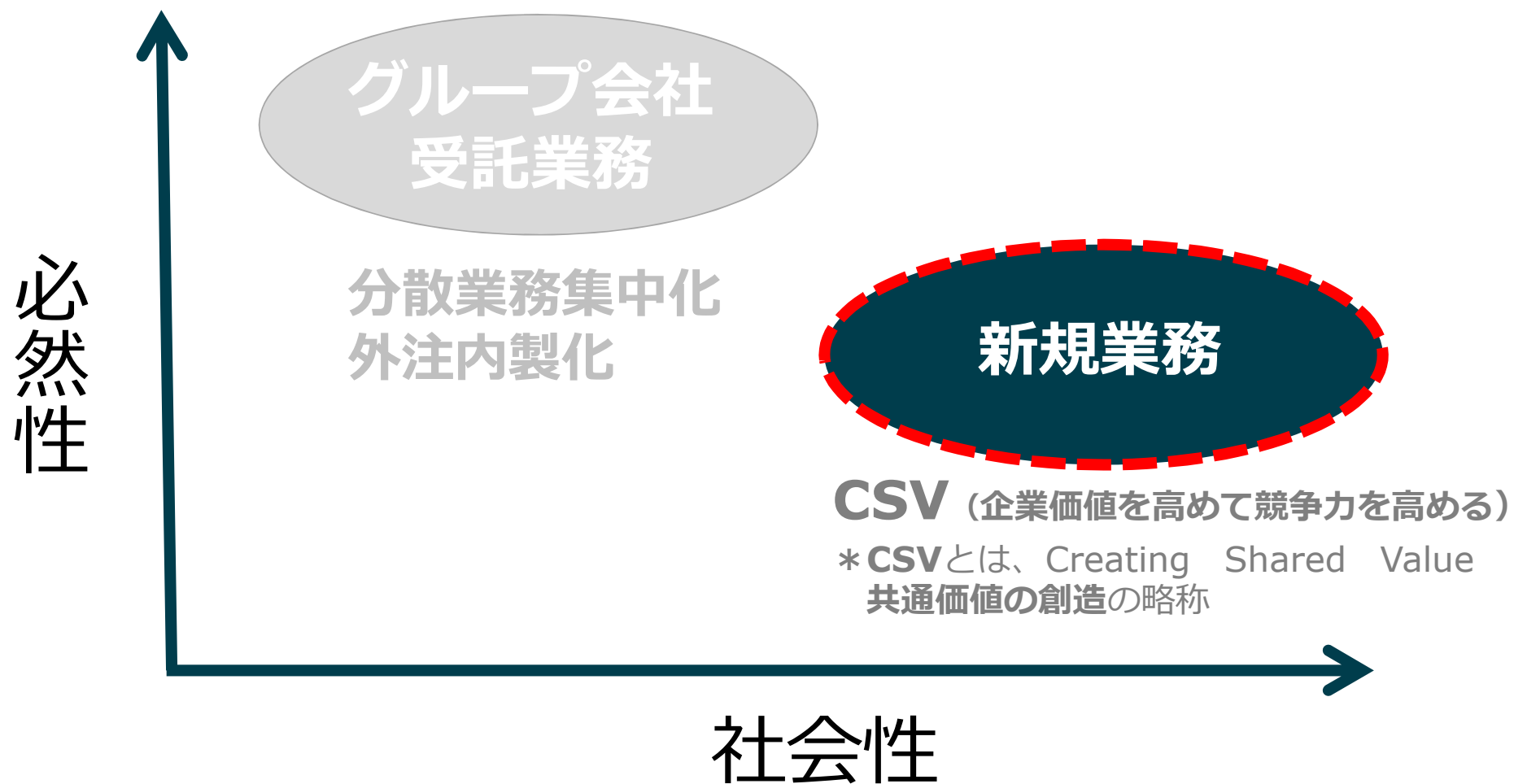
<養蚕から繊維製品作りの流れ>



農福連携～事例②～

よこすか・みうら岬工房
神奈川県横須賀市 農作業受託

農業参入の検討



農業参入の検討

パターン	特 徴	コスト	販路 責任	雇用 責任	備 考
① 農作業受託型	農家から農作業を業務受託 業務委託料で収支をたてる	○ 畑 持たない	○ 売らない	○ あり	
② 農業経営型	畑を賃借 農作物で収支をたてる	× 畑・農器具 持つ	× 売る	○ あり	ノウハウ蓄積で参入検討 もあり得る
③ 農園サテライト型	農園を賃借 障害者雇用ノウハウを外注	△ 委託料 発生	○ 売らない	△ 希薄？	

上記検討を踏まえ、①農作業受託型で参入！

よこすか・みうら岬工房 事業概要①



■ 事業目的

障害者雇用を通じて、横須賀市における農業分野の課題解決・発展に寄与し、地域の活性化に繋げ、弊社グループの障害者雇用を実現。

- ・2018年10月1日 開設
- ・支援スタッフ4名、障害者社員5名雇用でスタート
- ・2020年に障害者社員30名雇用を目指す。

■ 事業範囲

神奈川県横須賀市及び近隣地域

■ 事業所場所

横須賀市長沢 1 - 2 6 - 9

よこすか・みうら岬工房 事業概要②

☐ 勤務日及び時間

- ・月曜日～金曜日
8:00～16:00
- ・休日は、土日祝日、年末年始
- ・土日祝日に関しては繁忙期、収穫期
の場合は出勤

☐ 受託農作内容

- 圃場整備
 - ・草取り、マルチ張り、収穫後の片づけ、
ハウス維持管理 果樹園の維持管理
- 定植
 - ・キャベツ、大根等農作物の苗の定植
- 収穫
 - ・農作物の収穫
- 出荷調整
 - ・収穫した農作物の袋詰、梱包、洗浄作業
- 販売補助
 - ・農家が経営する直売所の販売補助業務

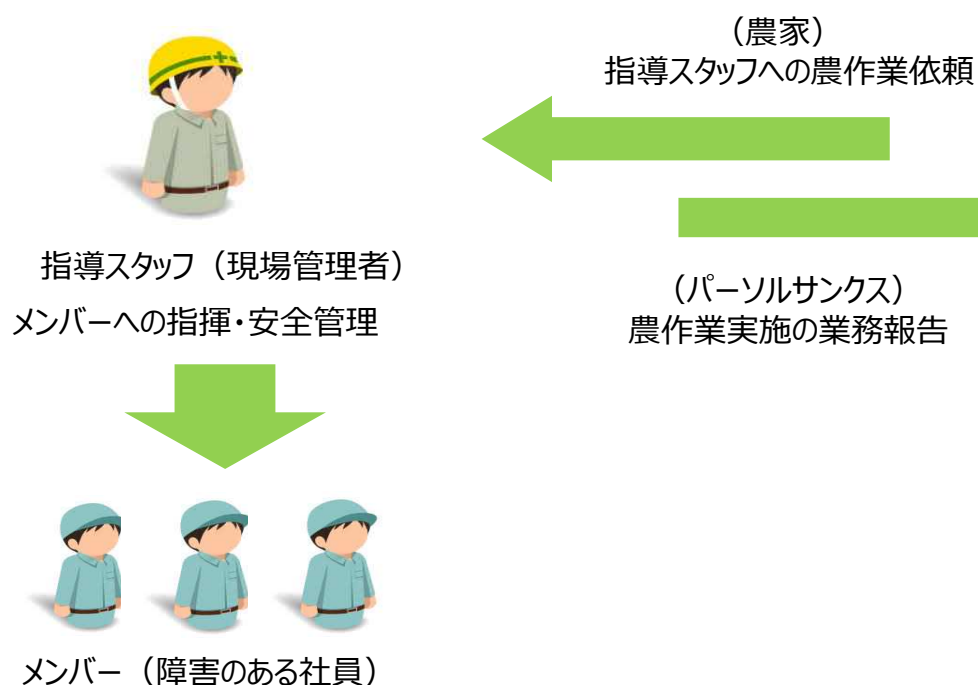
☐ 農作業受託農家数（2018年12月31日現在）

横須賀市：2軒 三浦市2軒

<1日のタイムスケジュール>

時 間	項 目
8:00	朝礼。作業農家へ移動
8:30	午前農作業開始（適宜休憩）
12:00	昼 食
13:00	午後農作業開始（適宜休憩）
15:00	作業終了 掃除、日報記入、着替え、終礼
15:30	農作業用具片づけ、掃除、洗濯
15:50	終 礼
16:00	退 社

よこすか・みうら岬工房 事業概要③（農作業受託）



パーソルサックスの業務

- 委託農作業管理：農作業進行管理、農作業報告
- 品質管理：作物の品質管理、作業品質の向上
- 衛生管理：メンバー健康管理
- 安全管理：メンバーの事故防止
- 業務効率化：作業手順書作成・安全管理書作成



農家のメリット

- 指導スタッフに作業指示（障害者への指示は不要）
- 信頼できる作業
- 生産性に見合った請負コスト
- 労働力確保の安定
- スケジュール管理が容易（指導スタッフが作成）
- 生産性の向上
- 6次産業品化の生産・販売協力

よこすか・みうら岬工房 事業概要④ (指導スタッフ“農業ジョブコーチ”の役割)

- ✓ 農家とのコミュニケーションと信頼関係作り
- ✓ 農作業の把握と習得
- ✓ 農作業の作業分解と効率化・改善
- ✓ 作業をしやすくするためのツール作成
- ✓ 指導スタッフ自ら作業を行い難易度・問題点を把握
- ✓ メンバーへの作業指導とスピードアップ
- ✓ 障害者の作業傾向・特徴に適した作業の割り当て
- ✓ 安全管理・事故防止を優先
- ✓ 事業計画の進捗管理 – 年間計画、月次管理
- ✓ 業務管理・業務改善 – 生産性、効率化、コスト削減
- ✓ 職域開拓 – 業務量、人員配置、採算性
- ✓ 人事評価 – 評価シート、プロフィールシート
- ✓ 障害のある社員の特性把握、業務指導、教育研修
- ✓ 指導スタッフ間の情報共有（障害のある社員・請負先）
- ✓ ケース会議、レビュー会議の実施
- ✓ キャリア形成とモチベーションアップの施策作り



農作業【農作物の苗植え付け】



農作業【出荷調整作業】



現状の課題と今後の目指すべき目標

現状の課題

- ・作業目標を意識した、作業スピード、農作業工程の構築。
- ・農作業の技術と知識の向上。

目指す目標

機械化できない、手間のかかる作業や労働力が集中して必要な農繁期の作業を、パーソルサンクスが単に農作業を請負うだけではなく、農家がさらに重要な部分の農作業に集中できるように、業務見直しや業務提案を行うことで、農家の生産性と効率向上が上がり、農業の活性化に貢献できるように農作業に取り組んでいくこと。また、安全管理の更なる精度向上にも取り組んでいきます。

農福連携のネクストステップ（考察）

- 安価な労働力供給システムにならない為にはどうしていくべきか？
- 支援スタッフの“**農業ジョブコーチ**”としてのキャリアアップ
- 福祉就労と一般就労の棲み分け、シナジー効果の出し方

はたらいて、
笑おう。



PERSOL